

江陵高等学校福祉クラブ“S”クラブ (SI 帯広みどり)
帯広大谷高等学校“S”クラブ (SI 帯広みどり)

Oneday おもてなし ボランティア

2017年9月10日「Oneday おもてなし ボランティア」と題し、外国からの JICA の研修生のおもてなしをと企画いたしました。JICA の研修生、2校の“S”クラブ会員、当クラブの会員、総勢 65 名にてパークゴルフ、焼き肉を頂きながらの懇親会、そして「統一行動：“キャッチ！SOS”キャンペーン」国際ガールズデーの推進に参加をして頂き、楽しい一日を過ごしました。

“S”クラブ会員の声・・・外国の人たちと交流ができてうれしかった。また参加したい。



江陵高等学校福祉クラブ“S”クラブ (SI 帯広みどり) 帯広大谷高等学校“S”クラブ (SI 帯広みどり)

「夢を拓く」茶話会

2017年12月24日「夢を拓く」茶話会を開催いたしました。2校の“S”クラブ会員、先生、クラブ会員が参加し、女性の会社の代表取締役の方に講演をしていただきました。「夢の実現にもう一步踏み出そう！今求められている人材とは」と題したお話しに“S”クラブの会員からは沢山の質問が出されました。

その後グループトーク、そして発表と、ユース・フォーラムに代表となった生徒も参加されていて、“S”クラブ会員が大活躍、しっかりと夢と将来を語っていただきました。

講演者の方にも参加していただき、「統一行動：”キャッチ！SOS”キャンペーン」女性に対する暴力撤廃の国際デーの推進に参加して頂き、茶話会を終了いたしました。

グループトークでは、

生徒の声・・・経験豊富なおばさん達とお話しが出来、色々な事も聞くことが出来て、とても有意義でした。自分の夢に向かって頑張っていけそうだ。



「茶話会」に参加して

12月17日、学校法人原学園 苫小牧中央高等学校 “S”クラブと2回目の茶話会を開催しました。この時期、3年生はメンバーから外れており、1年生・2年生の13人が出席しました。自己紹介の後、将来の夢(目標・目指す職業)を発表してもらい、発表することによって「夢から現実に向かって頑張るんだ」そんな意気込みが伝わり、1回目からみたらひと回り成長した生徒たちに触れ、頼もしさを感じながら限られた時間の中、大変爽やかな触れ合いの場を持ってました。

高校生が将来の目標語る
ソロプチ苫はまなすが茶話会



自分の夢を堂々と語る高校生

女性による国際的な奉仕団体、国際ソロプチミスト苫小牧はまなす(藤岡幸子会長)はこのほど、苫小牧中央高等学校で、同校の生徒と夢について語り合う「茶話会」を開いた。生徒らは将来の目標や目指す職業などを堂々と表明。初めて自分の夢を明かしたという生徒もおり、同団体のメンバーらは「頑張っってね」などと夢に向かう若者を激励した。同団体が取り組む、女性の地位向上活動の一環。苫小牧の高校生がどのような夢を持っているのかを知り、支援策を考える機会として昨年スタートした。今回が2回目。

同校は今年7月、校内や地域で奉仕活動を行う団体として国際ソロプチミスト苫小牧はまなすの「Sクラブ」に認証されており、この日の茶話会にはSクラブメンバーとして活動する1、2年生13人が出席。国際ソロプチミスト苫小牧はまなすのメンバー8人と山口祐正校長ら教職員も同席した。

「体が不自由な家族のために介護の仕事に就きたい」「人の心を癒わせられるようなデザイナーを目指しています」「将来就きたい仕事はまだ決まっていないけど、いろいろな人と出会いたい」など、未来への希望にあふれた言葉が聞かれた。「馬鹿にされるかと思って今までは人に言えなかったけど、絵を描く仕事に就きたい」と胸を張って述べた生徒もいた。

生徒たちの言葉を聞いた同団体メンバーは「有言実行という言葉がある。夢を人に語ることでかえりよくなる力になるので、どんどん口にしていって」と呼び掛けた。

野球が大好きなので、将来はプロ野球の試合で楽器演奏をしたいという木村海斗さん(2年)は「人の前で夢を語ることはとてもいい機会になった。きょう話した目標に向かって頑張ります」と語った。



苫小牧民報 2017年(平成29年)12月15日(金)



“S”クラブ認証式 (2018/1/19)



1月19日、北海道美唄尚栄高等学校軽音楽部“S”クラブ認証式を執り行いました。“S”クラブ会長は「昨年度から市内5つのイベントに参加し、熊本大震災の被害者のためのチャリティーライブを開催。本年度は空知大会や新人戦で上位に入賞することができ、ソロプチミスト美唄とのつながりを大切にして発展していきたい」と謝辞を述べました。

SI美唄にとって“S”クラブ認証は長年の念願であり、会員一同喜んでおります。おかげ様で、地域の方々にも“S”クラブを認識してもらい、私たちソロプチミストの活動を理解していただけるよい機会となりました。これからもソロプチミストとして 恥じないよう努力してまいりたいと思います。



2018/01/19

ス空知

2018年(平成30年) 1月24日(水曜日)



寺本会長から会員認証を受ける美唄尚栄高軽音部の生徒ら



鈴木委員長から認証状を受ける南谷Sクラブ会長

国際ソロプチミスト美唄 尚栄軽音楽部「Sクラブ」に

空知では2番目は毎年活動資金を支援

【美唄国際ソロプチミスト代食、会員1人は、域で奉仕活動をしてい(南谷いみ部長、部和教諭、石田洋教諭)チエト美唄(寺本祥)19日、音楽を聴いて地を美唄尚栄高軽音楽部(員18人、顧問・高橋良を「Sクラブ」として)の生徒たちを「Sクラブ」として

認証した、空知管内で支援募り方を贈呈しては滝川に次いで2番 たほか今後、年間の方田のボランティア活動資金を支援する。

「Sクラブ」は「SCROPTIMIST INTERNATIONAL of BIAI」(学校「SI美唄」)の「Sクラブ」を認証する。寺本会長は「念願の「Sクラブ」を認証することができ、関係者の尽力のおかげで、美唄尚栄高軽音楽部「Sクラブ」が、今年度から市内5つのイベントに参加し、熊本大震災の被害者のためのチャリティーライブを開催。本年度は空知大会や新人戦で上位に入賞することができ、ソロプチミスト美唄とのつながりを大切にして発展していきたい」と謝辞を述べた。

美唄尚栄高軽音楽部「Sクラブ」役員次(の通り)を略称。

▽会長 南谷いみみ
▽副会長 林真理子
▽レクチャー 堀田朋子
▽会計 南山妙子
【五十嵐悠

プレス空知
2018年(平成30年)1月24日(水)